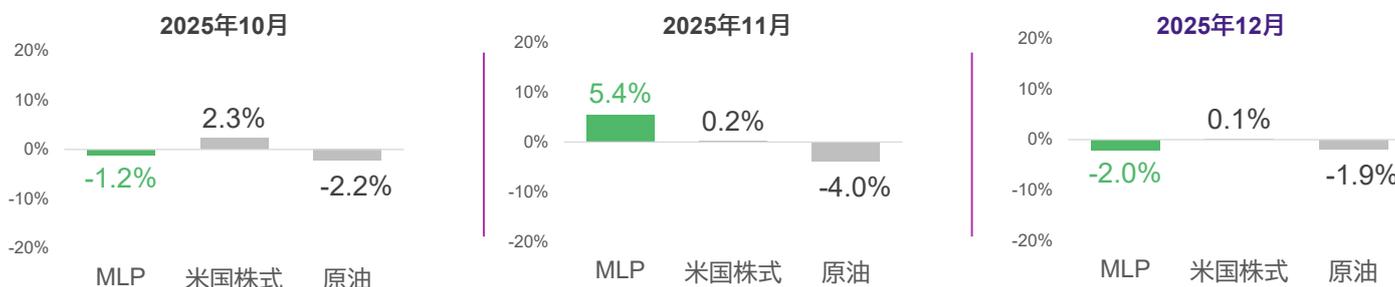


### 当月のS&P MLP 指数の動き

12月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-2.0%と2カ月ぶりの下落となりました。月初、MLPは、米利下げ期待を背景に米国株式が堅調に推移する中、上昇しました。しかしながら、その後は、ウクライナ和平を巡る交渉進展の可能性を受けて、原油先物が下落する中、MLPは下落基調となりました。月末にかけて、ベネズエラの大規模施設を米軍が攻撃したと伝えられたことなどをを受けて原油先物が反発し、MLPは上昇に転じたものの、月半ばの下落分を取り戻すには至りませんでした。

### 過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

### 主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	1ヵ月	3ヵ月	前年末比
	2025/12/31	2025/11/30	2025/9/30	2024/12/31			
<b>S&amp;P MLP 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	9,966.65	10,174.84	9,765.50	9,363.36	-2.0%	2.1%	6.4%
プライスリターン	1,735.11	1,771.35	1,733.42	1,759.87	-2.0%	0.1%	-1.4%
<b>S&amp;P 500種 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	15,220.45	15,211.14	14,826.80	12,911.82	0.1%	2.7%	17.9%
プライスリターン	6,845.50	6,849.09	6,688.46	5,881.63	-0.1%	2.3%	16.4%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,631.23	1,628.05	1,606.65	1,501.02	0.2%	1.5%	8.7%
プライスリターン	687.34	686.63	682.82	654.85	0.1%	0.7%	5.0%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,883.85	1,928.52	1,912.16	1,828.72	-2.3%	-1.5%	3.0%
プライスリターン	349.46	360.26	358.32	353.27	-3.0%	-2.5%	-1.1%
<b>米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,867.06	1,855.00	1,842.20	1,720.74	0.7%	1.3%	8.5%
プライスリターン	70.38	70.31	70.58	69.26	0.1%	-0.3%	1.6%
<b>米国10年国債利回り</b>							
	4.16%	4.01%	4.15%	4.57%	0.2%	0.0%	-0.4%
<b>原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
	57.42	58.55	62.37	71.72	-1.9%	-7.9%	-19.9%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
	3.69	4.85	3.30	3.63	-24.0%	11.6%	1.5%
<b>米ドル(対円)</b>							
	156.71	156.18	147.90	157.20	0.3%	6.0%	-0.3%

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当月の出来事いろいろ

- 11日に米国で発表された12月6日までの週の新規失業保険申請件数は、前週比+4.4万件の23.6万件と、コロナ禍時の2020年3月以来の大幅な伸びとなった。米国株式市場では、AI関連投資の過剰や収益化の遅れなどが懸念され、データベースソフト大手の株価が急落したほか、ハイテク株に売りが拡がり、ナスダック総合指数は反落した。ただし、ニューヨーク・ダウ工業株30種、S&P500の両指数は最高値を更新した。一方、原油需給の緩みが意識され、原油先物は売られた。
- 16日、米国で発表された11月の非農業部門雇用者数が前月比+6.4万人と、市場予想を上回ったが、失業率は4.6%と、予想以上に悪化し、2021年9月以来の高い水準となった。平均時給は前年同月比+3.5%に伸びが鈍化し、予想も下回った。また、米当局者が前日、米国はウクライナに安全の保証を提供する代わりに、領土問題での譲歩を求めていると明らかにした。ウクライナ和平を巡る協議が進展するとの観測から原油先物が続落し、WTI原油先物が2021年2月以来の安値を付けた。
- 米当局は20日、同国への麻薬密輸にベネズエラ政府が関与しているとして、ベネズエラの沖で、石油タンカーを拿捕したと発表した。また、21日には、別の石油タンカーを米国が追跡していると報じられた。22日には、ベネズエラ産原油の供給の先行き不透明感などから、原油先物が買われた。
- 23日、米国で発表された2025年7-9月期のGDP速報値は前期比年率+4.3%と、市場予想に反して伸びが加速し、2023年7-9月期以来の高成長となった。GDPの上振れを受け、株式が売られる場面もあったが、消費者信頼感指数が予想を下回り、利下げ継続期待を後押しすることになると、株式相場は上昇し、S&P500指数が最高値を更新した。

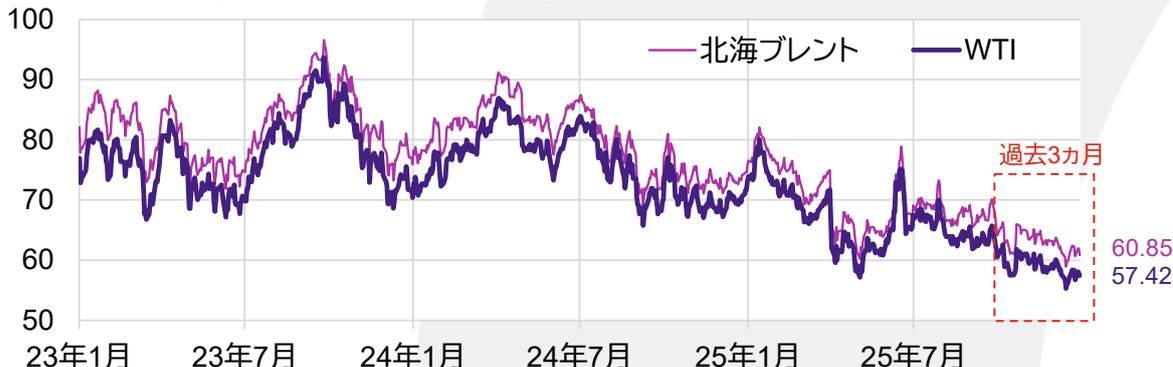
## 今後の注目点

1月から、2025年10-12月期の決算発表シーズンに入る。これに先立ち、MLP各社から発表される分配金の動向に市場の注目が集まる。

## 過去3カ月の原油価格の動向

10月の原油先物は、中東を巡る地政学リスクに対する懸念の後退などを背景に、下落基調となりました。中旬には、米欧による対露制裁などを受けて反発する場面がみられたものの、長くは続きませんでした。その後も下落基調が続き、12月16日には、ウクライナの和平を巡る協議が進展するとの観測が拡がる中、WTI原油先物が1バレル=55.27米ドルと2021年2月以来の安値を付けました。しかしながら、12月末にかけては、ベネズエラの大規模施設を米軍が攻撃したと伝えられたことなどを受けて、上昇しました。

(米ドル) 原油先物価格(1バレル当たり)の推移 2023年1月初~2025年12月末



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

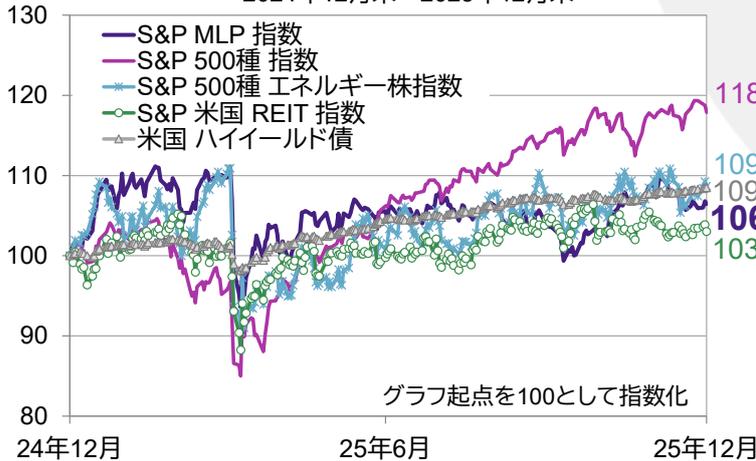
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

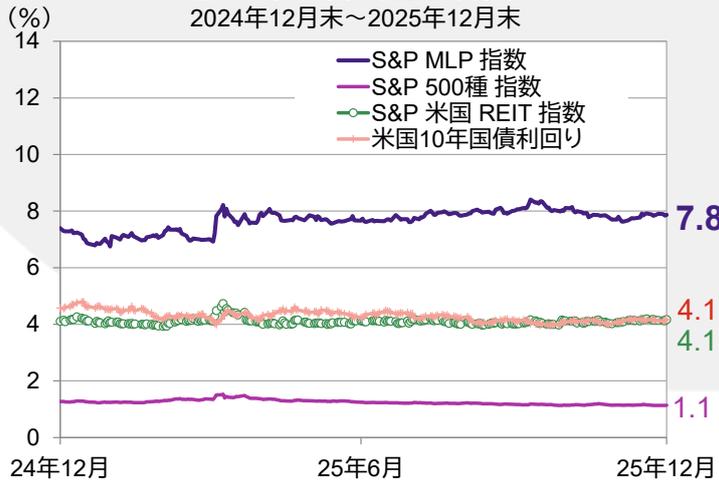
## 過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2024年12月末～2025年12月末



## 過去1年の各資産の利回り

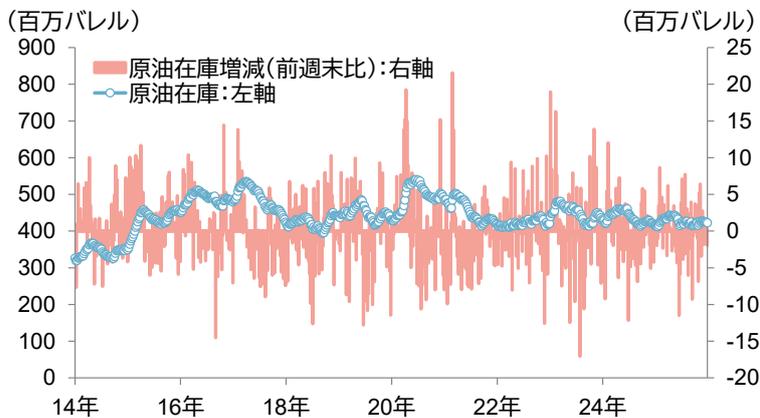
2024年12月末～2025年12月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。  
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

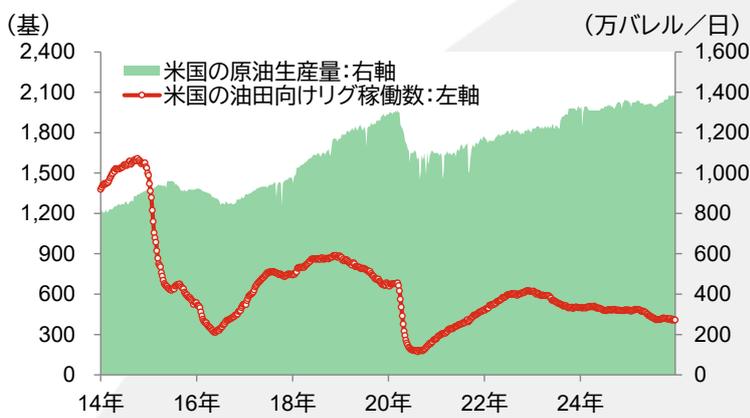
## 米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2025年12月第4週末



## 米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

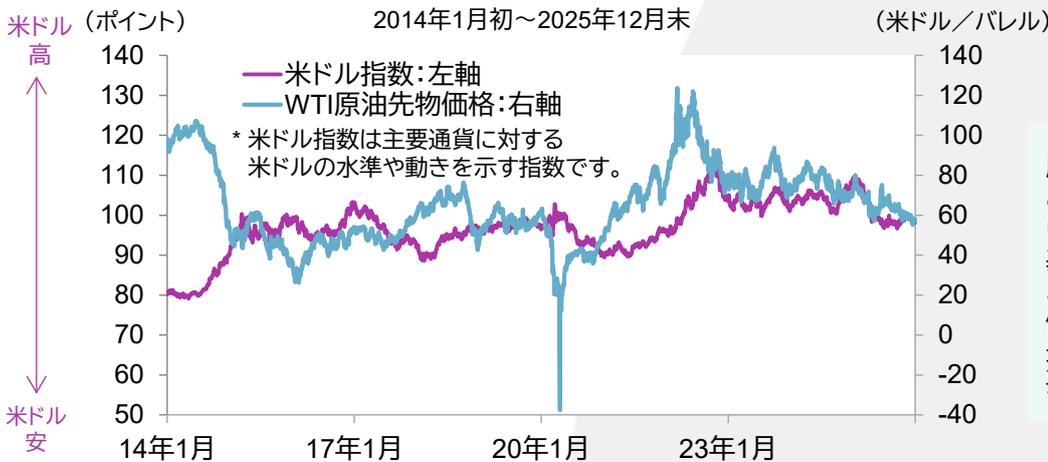
2014年1月第1週末～2025年12月第4週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

## 原油価格と米ドル指数\*

2014年1月初～2025年12月末



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成  
●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

### アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。